



Cisco Unified Communications Manager のユーザからの複数のユーザアカウントの作成

システムに Cisco Unity Connection ボイスメール ユーザを追加する別の手段として、Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) のユーザをインポートして作成する方法があります。

Cisco Unified CM のバージョンに応じて、この章の次のいずれか該当する項を参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection ユーザの作成 \(Cisco Unified CM Version 5.x 以降\) \(P.10-2\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection ユーザの作成 \(Cisco Unified Communications Manager Version 4.1\(x\) のみ\) \(P.10-3\)](#)

Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection ユーザの作成 (Cisco Unified CM Version 5.x 以降)

Connection が Cisco Unified CM データベースにアクセスするには AXL サーバが必要であるため、まず、ユーザのインポート元となる Cisco Unified CM サーバのための AXL サーバを設定する必要があります。Cisco Unified CM Administration に使用する AXL サーバは、[編集 (Edit)] > [Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] ページで設定します。Cisco Unified CM AXL サービスを有効にして (デフォルトでは無効)、[Cisco Unified Communications Manager AXL サーバ (Cisco Unified Communications Manager AXL Servers)] ページにオプションとして表示されるようにする必要があります。

Cisco Unity Connection の管理の [ツール (Tools)] > [ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して、Cisco Unified Communications Manager のユーザからボイスメール アカウントを持つ複数のユーザを作成します。また、ボイスメールボックスがなくても、Connection にアプリケーションユーザをインポートできます。

この方法でユーザ アカウントを作成した場合、Connection は Cisco Unified CM からユーザのエイリアス、内線番号、および姓名を取得し、その他の情報は指定したユーザ テンプレートから取得して入力します。Cisco Unified CM から取得したフィールドのデータは、Connection の管理では修正できません。その情報は、Cisco Unified CM の管理ページで変更する必要があります。

[ユーザを同期化 (Synch Users)] ページを使用すると、[ユーザをインポート (Import Users)] ページを使用して作成されたボイスメール ユーザの情報を Cisco Unified CM から手動でリフレッシュできます。また、[タスク管理 (Task Management)] ページを使用して、Cisco Unified CM のユーザデータを定期的に自動で同期するタスクを作成することもできます。

Cisco Unified Communications Manager ユーザのインポートによる Cisco Unity Connection ユーザの作成 (Cisco Unified Communications Manager Version 4.1(x) のみ)

Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM Version 4.1(x) と統合されている場合、Cisco Unified CM の管理者は、Cisco Unified CM Administration の [Directory Number Configuration] ページまたは [User Configuration] ページのいずれかで、通常の個別 Connection ユーザ アカウント (Cisco Unified CM でボイスメールボックスと呼ばれているもの) を作成できます。Connection ユーザ アカウントは、ブラウザによって暗号化されたセキュア伝送をネットワーク内でクレデンシャルに使用して作成されます。

ユーザを Cisco Unified CM からインポートしてユーザ アカウントを作成した場合、それらのアカウントは、選択された Connection ユーザ テンプレートが提供する最小限の設定データしか保持していません。このテンプレートが提供する項目のほかにユーザ アカウントをカスタマイズする必要がある場合は、Cisco Unity Connection の管理を使用してカスタマイズを完了します。アカウントが作成された後、Connection と Cisco Unified CM の間では、ユーザ データの自動同期は実行されないことに注意してください。両方のシステムに存在するユーザ アカウントを修正する場合、ユーザ アカウントの同期を維持する必要があるときは、両方のシステムでユーザ アカウントを手動で修正する必要があります。

Cisco Unified CM ユーザをインポートして Connection アカウントを作成するには、次の作業を示されている順序どおりに実行します。

1. [Cisco Unity Connection のログオン アカウントと環境の設定 \(P.10-3\)](#)
2. [Cisco Unified CM Administration での Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成 \(P.10-4\)](#)

Cisco Unity Connection のログオン アカウントと環境の設定

Connection 上と Cisco Unified Communications Manager 上でボイスメールボックス作成環境を設定するには、次の手順を実行します。

Cisco Unity Connection のログオン アカウントと環境を設定する

- ステップ 1** 『Cisco Unity Connection インストレーション ガイド』、Cisco Unity Connection インテグレーション ガイド、およびその他の必要なシスコ マニュアルの手順に従って、Connection および Cisco Unified CM Version 4.1(x) の設定と統合を完了します。
- ステップ 2** Connection ボイスメール ポートが Cisco Unified Communications Manager で設定済みであることを確認します。
 - a. Cisco Unified CM Administration で、[Feature] > [Voice Mail] > [Cisco Voice Mail Port] をクリックします。
 - b. 検索条件を入力し、[Find] をクリックします。Connection ボイスメール ポートに、登録先となる Cisco Unified CM、および Connection サーバの IP アドレスが示されている必要があります。
- ステップ 3** ボイスメールボックスを持つユーザを作成するための Connection ユーザ テンプレートが設定され、使用可能な状態になっていることを確認します。
- ステップ 4** Cisco Unified CM および Connection が、ファイアウォールから見て物理的に同じ側に配置されていることを確認します。

- ステップ 5** Cisco Unity Connection の管理に IP アドレスでアクセスできることを確認します。Cisco Unified CM サーバ上で Web ブラウザを開いて、<https://<Connection の IP アドレス >/cuadmin> を参照します。
- ステップ 6** Cisco Unified CM Administration アプリケーションで、**[Cisco Unified CM Serviceability]** > **[Tools]** > **[Control Center]** を参照し、Cisco Unified CM サーバ名をクリックして、RIS データ コレクタがアクティブ化され、動作していることを確認します。
- ステップ 7** **Voicemailbox.asp** ファイルを Connection サーバからダウンロードします。このファイルは、<https://<マシン名 >/concerto> から入手可能です。
- ステップ 8** **Voicemailbox.asp** ファイルを Connection サーバから Cisco Unified CM サーバの C:\CiscoWebs\Admin ディレクトリにコピーします。
- ステップ 9** Cisco Unity Connection の管理で、User Administrator 役割を持つユーザを新規作成します。
- ステップ 10** ユーザの **[編集 (Edit)]** > **[パスワードの変更 (Change Password)]** ページで、このユーザの一意のパスワードを設定します。その後、Cisco Unified CM Administration を使用して Connection ユーザを作成するときは、このユーザのログオン クレデンシャルを入力して、Connection に対する要求の認証を受けます。

Cisco Unified CM Administration での Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成

Integrated Mailbox Configuration では、セッションごとに、ユーザ名とパスワードを使用して認証を受けるように要求されます。認証が成功した場合は、Cisco Unified CM Administration にログオンしている限り、再認証を要求されません。

Cisco Unity Cisco Unified CM Integrated Mailbox Configuration を使用して Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成する

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration アプリケーションにログオンします。
- ステップ 2** 次の一連のサブステップのいずれかを実行します。

ボイスメールボックスを **[User Configuration]** ページから作成する

- a. **[User]** > **[Global Directory]** をクリックします。**[User Information]** ページが開きます。
- b. ユーザを検索します。ユーザ全員のリストを参照するには、**[User Search]** ダイアログボックスを空白のままにして **[Search]** をクリックします。
- c. ユーザのリストで、目的のユーザの名前をクリックします。**[User Configuration]** ページが開きます。
- d. **[Primary Extension]** の隣に表示されている **[Create Voice Mailbox]** リンクをクリックします。



(注) **[Create Voice Mailbox]** リンクは、ユーザの **[Voice Mail Profile]** が **[Primary Extension Directory Number]** と関連付けられていない限り表示されません。

- e. **ステップ 3** に進みます。

ボイスメールボックスを [Directory Number Configuration] ページから作成する

- a. [Device] > [Phone] をクリックします。[Find and List Phones] ページが開きます。
- b. 電話デバイスを検索します。すべての電話デバイスのリストを参照するには、検索ダイアログボックスを空白のままにして [Find] をクリックします。
- c. デバイスのリストで、目的のデバイスの名前をクリックします。[Phone Configuration] ページが開きます。
- d. ページの左側にある [Directory Numbers] のリストで、目的の [Base Phone] をクリックします。[Directory Number Configuration] ページが開きます。
- e. ページの右上に表示されている [Create Voice Mailbox] リンクをクリックします。



(注) [Create Voice Mailbox] リンクは、[Voice Mail Profile] 設定をパイロット番号を含めるように設定するか、パイロット番号として [None] を指定するように設定していない限り表示されません。[Voice Mail Profile] が [No Voice Mail] に設定されている場合、[Create Voice Mailbox] リンクは表示されません。

- f. [ステップ 3](#) に進みます。

ステップ 3 [Enter Network Password] 画面が表示された場合は、Cisco Unity Cisco Unified CM Integrated Mailbox Configuration の管理者名とパスワードを入力します。

ステップ 4 ボイスメールボックスの [Extension]、[Alias]、[First Name]、[Last Name]、および [Display Name] に、Connection に表示する値が設定されていることを確認します。必要に応じて内容を変更してください。

[Display Name] が入力されていない場合、表示名は Connection ユーザ テンプレートの設定に基づいて作成されます。

ステップ 5 ドロップダウン メニューで、ボイスメールボックスに適用される [Voice Mailbox Template] を選択します。Integrated Mailbox Configuration では、ボイスメールボックスを持つユーザを作成するための一連のテンプレートから選択できます。ボイスメールボックスを持たないユーザを作成するためのテンプレートは選択できません。

ステップ 6 [List in Directory] のステータスを確認します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています (ユーザ テンプレートでの設定内容は上書きされます)。

ステップ 7 [Insert] をクリックします。ボイスメールボックスが Connection に追加されます。

ステップ 8 ボイスメールボックスのデータが正しいことを確認します。内容に誤りがある場合は、[Delete] をクリックし、この手順を [ステップ 2](#) から繰り返します。

ステップ 9 [Close] をクリックします。

